

ひなたぼっ「通信」

2017年
3月号



一月七日(火)、

原村在住の画家、
小林栄一郎様より
5枚の絵画を寄贈
して頂きました。

小林様がヨーロ
ッパに出かけて画
かれたもので、絵
画はいずれも10
0号から120号
と大きなもので

す。キャンパスには和紙などを貼り付け、筆ペン
と水彩で描かれています。

小林様は「入居者の皆さんが絵を見て少しでも
元気になってもらえれば嬉しい」と話されていま
す。小林様は元近代美術協会会員で毎年のように
全国で個展を開いておられます。

ケアハウスに来ていただければご案内致します
ので、ぜひご鑑賞ください。

宅幼老所から

①「豆まき」

2月3日は節分でしたね。宅幼老所でも利用者
のみなさまと職員と一緒に豆まきを行いました。
職員が手作りの紙箱に落花生を入れ、1人1つ
お持ちになり準備万端!

男性職員が鬼のお面をかぶり、鬼になりきると、
当日お預かりしていた赤ちゃんが鬼の顔を見てあ
まりの怖さに泣き出してしまっただけでした。

みなさまで鬼に向かって「鬼は外!」と豆を
投げ、節分の雰囲気を楽しみました。

女性職員は、なんと理事長お手製のおかめのお面
をかぶり可愛らしく登場。可愛いおかめには誰も
豆を投げられず、みなさまでおかめと握手をして、
「福は内!」と今年の福を願いました。

最後には鬼も一緒に仲良く、「おいしいね!」と
豆をいただきました。

写真の鬼とおかめの絵は、レクリエーションの
時間に利用者様がとても綺麗に塗ってくださいま
した。



②「レクリエーション」

宅幼老所では、2月は神経衰弱のレクリエーシ
ョンで盛り上がりました。普通はトランプなどを
使って遊ぶかと思いますが、手作りのこのカード
は裏面にひらがなを書き、2枚めくって同じひら

がなを揃えて遊ぶというルールにしました。

表面には利用者様に様々な模様でカラフルに塗
っていただき、個性が溢れるカードになりました。
遊び始めると、最初は枚数がたくさんあるためな
かなか揃いませんが、だんだん慣れてくると
「それさっきどこかでめくったよ!」
という声が響き、揃うと

「すこいね!」「よく覚えてたね!」
と喝采が上がります。

宅幼老所では、利用者のみなさまに楽しんでい
ただけるようなレクリエーションをこれからも提
供していきたいと思っております。

グループホームから

①「心あったか生活 嬉しいです!」1階

他人同士の共同生活となると勿論色々あります。
ご利用者間のトラブルについて、私達職員も色ん
な視点から穏やかな生活が出来る様に話し合いま
す。

それでも心配をよそに、流石に苦しい時代を助
け合ってきた時代の方々で、思いやりの場
面が沢山あります。「元気で頑張れよお!」あの人、
今日は良く笑って明るくて嬉しいよお!」とご自分
の事の様に喜んで下さったりします。

そして居室でお過ごしになっている方が体調の
様子でホールでみなさんとお食事する時は「沢山
食べれて良かったね」と声を掛ける方、横で手を
さすって下さる方もいらっしゃいます。

寝る前にはその方の居室へ行って「寝るでね、

またね」と声を掛ける方、「また明日ねって声掛けたらうなずいてくれたよ」と嬉しそうに笑顔で居室から出てくる方もいらっしやって、その光景に感動します。

生活していく中で心のつながりを大事にしながら、自分もこの仕事に一生懸命携わっていきたいと思いました。

②「ご利用者様の入院・退院」2階

1月、96歳の誕生日を迎えられたばかりのご利用者様に、微熱の日々がつづきました。心配な容態を、介護・看護の職員が、昼夜、連絡をとりながら、見守らせていただきました。が、ご高齢です。大事をとって高原病院へ入院されることになりました。

私たち職員にとって、いつもおられた方が入院される・・・といえますのは、ごいっしょに過ごしていますので、心に穴がぼっかりと開いたような気分になります。職員の間での会話は「今頃、どうされているのか・・・」と容態を案ずることが毎日となります。一日も早くお元氣になられ、戻られることを一同で願うばかりでした。

2月中旬を迎え、約1ヶ月を過ぎました、願いが通じました。無事、退院されました！職員がそろってお出迎え、久しぶりにお会いすると、涙を流され喜んでくださる・・・「ありがとう」とくり返されるお姿に私たちも感激です。

「96歳の長寿をされておられるのですから、これからも、益々、お元氣でいっしょに！」と

願いを新たにする喜びの日でした。

ケアハウスから

①「ひなまつり」1階

3月3日は桃の節句です。

ケアハウスでは2月上旬に利用者様と共に七段飾りのひな人形を飾りました。よ



く見ると、ひな人形はみんなそれぞれに顔や表情が違って見えて飽きません。桃の節句は春の行事で、少しずつ春が近づいている気がします。しかし、朝晩はまだ寒いので、「みなさん！」風邪に注意して元氣に春を迎えましょう！（ひ）

②「ケアハウスの皆さまと」2階

益明けの暑いさなかにお世話になり始めて、あっという間に半年も過ぎてしまいました。掃除・洗濯・炊事・家事というものに全く手を染めない人生を送ってきた者に、この介護の仕事は全てが「おっかな、びっくり」の連続でした。

十月の研修講座が始まると、それこそ息つく間もない日々が続きました。でも年末ぎりぎりで資格を取得でき、夜勤の始まった新年の頃には、パット交換の際に「あなた、うまくなったわね」とご利用者様にお褒めの言葉を頂戴してとてもうれしい気持ちになりました。

新規施設職員など介護スタッフ募集

- 常勤職員 若干名
- パート職員 若干名
- 宅幼老所送迎職員 若干名
- 勤務先 ケアハウス（原村）
グループホーム・宅幼老所（富士見町）
障がい児放課後等DS（富士見町）予定
- 通勤手当・年末年始手当・お盆休暇・夏・冬特別休暇・昇給・資格取得補助、子供手当、住宅手当、介護処遇手当、退職手当（パート職員は退職手当20年勤続年金360万円）、賞与（パートは常勤の70%）
- 随時、職場見学や説明会を行っています。お気軽にお問い合わせください。
〈社会福祉法人ひなたぼっこ本部〉
富士見町富士見 11650-1 ☎0266-61-2335（担当/森）
HPは「ひなたぼっこ富士見」で検索してください。

『親孝行、したい時に親はなし』の諺どおり、認知症になった母親を実家の兄に任せっきりで終わってしまった反省から、この職業に挑んでみたものの、自分自身が三途の川を渡る時には「よく頑張った！」と父母に出迎えてもらえるように、精進したいと思う日々であります。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

〒399-0211

富士見町富士見11650-1

TEL 0266-61-2335

FAX 0266-61-2336

